

プライムツリー赤池店 決起集会

11月24日(金)グランドオープンするプライムツリー赤池店で働く従業員が集まり、オープンに向けた心合わせとして決起集会を開催しました。

プライムツリー赤池店



支部代表委員
本橋 大樹

と き 2017年10月13日(金)
と ころ 日進市民会館
参加人数 183名

労働組合の活動を通じて、プライムツリー赤池店で働く従業員が一堂に会し、コミュニケーションを図り、プライムツリー赤池店が掲げる「☆☆☆☆(五つ星)」を頂けるサービスを提供できるよう、労使一丸となって頑張ります。
今年唯一の新店として、様々なことにチャレンジしていきますので、プライムツリー赤池店を宜しくお願い致します。

支部解散式

奈良支部



支部代表委員長
北浦 和洋

閉店日 2017年9月10日(日)
解散式 2017年9月14日(木)

奈良店が閉店になることを最初に聞いた時はお店全体に大きな動揺がありましたが、閉店の9月10日が近づくごとに改めて多くのお客様に愛されていた店だったとの実感を強くしました。
解散式では200名以上の方にご参加いただき、楽しい思い出もつらい思い出も多くの方から聞くことができ、非常にあたかも霧のなかで終了することができました。
今後は皆それぞれの道に進みますが奈良店で得たものを活かして進んでいく事を誓いました。

松本支部



支部代表委員長
瀬下 雅弘

閉店日 2017年9月10日(日)
解散式 2017年9月14日(木)

39年間という長い歳月を、松本の地で多くのお客様に愛されながら営業を続けてきたアリオ松本店が閉店を迎えました。支部代表委員長の役割を担い、様々な活動を通じて皆さんと交流をしてきましたが、積極的に参加をいただいた方も多く、皆さんに支えられてきたという想いでいっぱいです。
解散式では、一緒に過ごしてきた仲間と語り合う場として、最後の最後まで笑顔が溢れていました。マネージャーを中心にマイクを回し、多くの激励のメッセージもいただきました。それぞれ、違う道を進んでいきますが、これからも笑顔で頑張っていきたいと思います!

組合活動へのご協力、ありがとうございました。

さんか

SANKA!



環境変化を正しく認識し、
一人ひとりが立場・役割で何をすべきかを考え
行動を起こそう!

NOV 2017

vol. 513

平成29年11月15日発行



第48回定期中央大会開催



INDEX

- ② 石合中央執行委員長あいさつ
- ③ 定期中央大会開催報告・ご来賓挨拶
- ④・⑤ 第1号議案 2018年度活動方針
- ⑥ 中央役員選出
OB・OG会事業の設立
- ⑦ 2018年度の活動に向けた決意・議長団の感想と決意
- ⑧ 退任役員と功労者一覧
- ⑨ 第4号議案 参与の任命
第7号議案 参議院議員選挙推薦決議
- ⑩・⑪ ゾーン議長あいさつ
- ⑫ 支部決起集会・支部解散式



ISMとはIY主義であり全ては商売の原点です。
I=挨拶(あいさつ)「挨拶」は、相手に心をひらくこと。「挨拶」は相手に近づくこと=礼儀
S=躰(しつげ)自分の身を美しく見せるという意味。自身を愛すること=自信
M=身嗜み(みだしなみ)容姿・服装・言葉遣い・態度を正すこと=心掛

「営業(=利益)管理と労務管理の一体改革を通じて、 IY再生、真のワーク・ライフ・バランスを実現させよう！」

はじめに

第48回定期中央大会がこうして無事に開催できますのもUAゼンセン・流通部門・都道府県支部・部会加盟組合・友好労組・内外役員・OBなど数多くの方々のご厚情とご指導の賜物であります。深く感謝申し上げます。また、これまで、良好な労使関係を築くことが出来たのも経営者の方々の深いご理解とご協力のおかげであります。今後とも宜しく願い申し上げます。

互いに寄り添って頑張れば何とかなる時代から、 一人ひとりが考え行動に移して結果を出す時代へ

これまでの私たちは、トップダウンによる受け身の働き方が常態化し、自身で考える力・行動する力を失ってきた様に思えます。働き方・意識や業績を変える事は決して簡単ではありませんが、前提に立つべきは「互いに寄り添って、頑張れば何とかなるという時代から、一人ひとりが考え行動に移して結果を出す時代へ」とシフトしている事を認識しなければなりません。

“寄らば大樹の陰”という考えではそこに甘えが発生し成長をストップさせてしまいます。“セブン&アイHLDGS.という大きな傘の下に居るから大丈夫”という保証はなく、「安心」が担保されているわけではありません。“自分がやらなくても誰かがやってくれる”といった待ちの姿勢では、前進させることが出来ません。

組織の対応と一人ひとりの意識改革

2017年3月より会社も新体制となり、もう一度商売の原点である「お客様第一主義」をスローガンに、基本四原則(フレンドリーサービス・クリンリネス・鮮度・品揃え)の徹底を図り「再生」を目指しています。

その実現に向けて、職場の組合員の声・提言を軸とした「労使協議」を通じて、自主性・主体性を阻害する要因をタイムリーに取り除いていく。商売や職場環境に関する前向きな提言を活かしていく事が重要です。是非、支部座談会や研修会などに積極的にご参加いただき、「声」を届けてください。どうぞ宜しくお願いします。

一方で、私たち自身で「商店(=部門)を経営している」という意識が必要です。そうとなれば、真っ先に運転資金を考えます。手元にキャッシュがなければ、お客様に提供する商品を仕入れることも従業員に給料を支払う事も、設備投資をすることも出来ません。

一日一日毎にお客様のニーズを踏まえた商品を必要な量を仕入れ、販売するための「計画」を立てます。売り切らなければ値下げ・廃棄ロスが出る為、慎重に考えざるを得ません。また、自分の立てた「計画」と一緒に働いている仲間と徹底して伝える事も重要です。同じ意識で仕入れや販売にあたってもらわなければ結果を出すことが出来ません。

そして、わざわざ足を運んでご来店いただいたお客様を一人も逃すことなく、商品価値を伝え、納得してご購入いただけます。一人でも多くのお客様にご来店いただき、「利益」を上げ続ける

中央執行委員長
石合 弘二

為には、些細な努力も怠るわけにはいきません。一点でも多く販売し日銭を稼がなくては、商売はもとより生活し続けることが出来なくなります。

更に経費(=コスト)を出来る限り省力化することです。単純に販売収入より経費が上回れば赤字になります。例えば残業経費について、人員対作業量のギャップを点検し、行き過ぎた残業費用を抑制していくのも「利益」を出すための重要なファクターです。

少くらの“しょうがない”や甘えは許されない

昨今、競争激化による生産性低下が招く弊害の下に「長時間労働やサービス残業」が大きな社会問題となり、労働法制の見直しや規制が強化されています。これら問題を起こした企業は社会的制裁を受け、全て企業名が公表されていく時代です。

何故今か?昔以上に社会の目が厳しくなったから?働き手や家族の訴える手段が増えたから?それも確かにそうかもしれませんが、本質は、

- 残業代を支払ったら、利益が出なくなる
- 少しなら誤魔化してもしょうがない
- 人がいないから長時間労働は止むを得ない
- 少しなら目をつむってくれるだろう、事情を話せばわかってもらえるだろう

この少くらの“しょうがない”や甘えの積み重ねが行き過ぎた故に起きた、必然の事態ではないかと思えます。

- 私たちは直面する課題や現場現実から目を背け、幾つもの問題が投げかけられているにも拘わらず、確固たる答えや対応が見つからないまま放置してこなかったらどうか?
- 業績が上がらない、人手が足りない事を周りのせいにしてこなかったらどうか?
- 過去の慣習に甘え、一歩踏み出すことを躊躇してこなかったらどうか?

正しい環境認識の下、 IY再生、真のワーク・ライフ・バランスの実現を目指していこう!

改めて、私たち企業別労働組合がもつ基本理念・考え方は寄らば大樹の陰をとらず、主体性を持って行動すること。戦後日本の産業を支えた「生産性三原則」をベースとした「涸れた井戸から水は汲めない」であり、先頭に立って考えなければならないことは、会社を守り・組合員の生活を守る事です。

これからは、日本の人口が2030年にかけて毎年0.5%、66万人程度のペースで減少していき、65歳以上の高齢者割合は既に25%を超え30%に向かいます。就業者数は経済成長前提で180万人程度、ゼロ成長ペースでは800万人程度減少すると予測され、市場・消費の縮小、労働力不足・採用難が一層顕在化していくことが懸念されます。

一方で総合EC(Electronic Commerce 電子商取引)サービス、AI(Artificial Intelligence 人工知能)を中心とした技術革新が急速に発展し、私たちの商売や働き方に大きな変化が求められると同時に、働く時間に厳しい制限がかけられ、その中でルールを守り「利益」をあげ続けていかなければなりません。二兎を追わなければ生き残れない時代です。

環境変化を正しく認識し、一人ひとりが立場・役割で何をすべきかを考え行動を起こす。経営者意識をもって最大の成果をあげていきましょう!

その先に「適正な労働時間で結果を出している人が正当に評価される風土を築いていきたい、真のワーク・ライフ・バランスを実現させたい」と思っています。今年も一年どうぞ宜しくお願い致します。

以上

第48回定期中央大会開催



2017年10月6日(金)東天紅上野本店にて「第48回定期中央大会」が開催されました。今大会では、「2018年度活動方針」や「2018年度予算」、「第25回参議院議員選挙推薦決議」等、7つの議案に関して、各支部の代表者である171名の代議員と審議を行い、全ての議案が満場一致で承認されました。今年度の活動スローガンは、IY再生、真のワーク・ライフ・バランス実現に向けてです。今回承認された活動方針を実行するには、多様化する組合員の声スピーディーかつダイレクトに反映しなければなりません。そのためには支部完結での支部労使協議制を確立し、より働きがいのある職場環境の実現につなげる事が出来る支部組織を作ることが必要です。支部が一つの労働組合(支部代表委員長=委員長)として、その組織力を発揮していく事が不可欠であることから「一支部一組合の確立」、「支部労使協議制の確立」が活動を推進していくための柱になります。このような考えを軸に2018年度の活動を進めてまいりますので、組合活動への積極的な参加・参画をよろしくお願い致します。

議案事項

- ◇ 第1号議案「2018年度活動方針」
- ◇ 第2号議案「2018年度予算およびパンプキンクラブ予算」
- ◇ 第3号議案「2018年度中央役員選出」
- ◇ 第4号議案「参与の任命」
- ◇ 第5号議案「功労者表彰」
- ◇ 第6号議案「OB・OG会の設立について」
- ◇ 第7号議案「第25回参議院議員選挙推薦決議」



(株)イトーヨーカ堂代表取締役社長
三枝 富博氏

イトーヨーカ堂の現状や課題点、今後組合員に期待することを中心にお話をいただきました。コミュニケーションに関しては、普段から風通しが良い環境を作ること、普段から「あの人がいたら話を聞いてもらえる」というような信頼できる関係をどうつくっていくのかという事がイトーヨーカ堂にとっても大切であるとお考えをお話いただきました。また、働き方改革においては、企業の社会的責任という視点からも重要であり、まずは経営リーダーと店長をはじめとするトップリーダーから意識と行動を変えていき、労使一丸となって社内風土を変え、改善につなげていきたいとお話をいただきました。



UAゼンセン東京都支部支部長
渡辺 理氏

東京都の歴史についてのお話とイトーヨーカドー労働組合は、長い歴史のある組合であり、また、企業規模が大きいかにも関わらず、現場の支部代表委員長・中央役員全員が職場目線で組合活動をしている。自分の職場をどうしたら良くなるかを日々考えている。こうした点が大きな特徴であり、イトーヨーカドー労働組合の伝統であるので、今後も大切にしてほしいとお話をいただきました。



「IY再生」「真のワーク・ライフ・バランス」実現に向けて

活動の方向性

健全な労使関係から「組合員の声」が集まる組織の構築

組織の活動が量的・質的に広がりを見せる中で、支部代表委員長をはじめとする支部役員（リーダー）に、適格な判断力と行動力が求められています。また、組合員の抱えている問題や労働組合に対する要望は多様化しており、業態、職場、職種、地域、労務構成などにより大きく異なっています。その一つひとつを解決するためには、各支部における支部役員を中心とした一支部一組合（支部労使協議制）の確立が必要です。今一度、組合員が参加しやすい組織機能の点検ならびに強化を図り、「組合員の声」が集まる組織の構築を目指していきます。

経営参画から「利益（＝組合員の幸せ）」の追求へ

イトーヨーカドー労働組合の活動の目的（原点）は、言うまでもなく「雇用の確保」と「労働条件の維持向上」です。その基本的な考え方は、「涸れた井戸から水は汲めない」という言葉に集約されています。つまり、企業という井戸に利益という水を決して涸らさず、溜め続けなければならぬということです。厳しい経営環境が続く中だからこそ、この「原点」に立ち返って経営意識を持った活動を行う必要があり、そのために支部を中心とした活動の推進が今一度求められています。経営参画は職場（支部）からであり、職場の課題・問題点を支部労使協議会による議論・協議からきちんと改善し、「利益（＝組合員の幸せ）」を追求していきます。

「営業（＝利益）管理と労務管理」の一体改革

「長時間労働やサービス残業」が大きな社会問題となり、労働法制の見直しや規制が強化されている環境の中、真のワーク・ライフ・バランス実現に向けた働き方改革が求められています。長時間労働は正や柔軟な働き方の実現に向けた労働環境の整備等は、多くの企業で喫緊の課題となっています。今こそ「営業（＝利益）管理と労務管理」の一体改革に取り組んでいきます。

一支部一組合 支部労使協議制の確立



“IY再生” “真のワーク・ライフ・バランス” の実現

活動推進のための組織体制づくり

いちしづいづくみあい 「一支部一組合」の確立

労働組合の活動の目的は、「雇用の確保」と「労働条件の維持向上」です。健全な労使関係・協議のもと、それらは実現していきます。私たちの働く現場は、店舗・本部であり、「支部」です。より労使でのコミュニケーションを深め、スピーディかつダイレクトに職場の組合員の声を反映していくには、支部完結での支部労使協議制を強化し、支部を一つの労働組合（支部代表委員長＝委員長）として、その組織力を発揮していくことが必要です。

1998年の第28回定期中央大会にて、新しい労働組合づくりに向けて、活動の基礎組織の確立を目指し、支部代表委員長制を導入しました。支部は労働組合の活動の原点です。様々な課題の改善には、一つひとつの活動の積み重ねが必要であり、支部が一つの組合組織として、店・本部の経営幹部と支部代表委員長を中心とした支部役員との健全な労使協議が大切なのです。組合員の抱えている課題・問題、労働組合への要望は多様化してきています。労働組合の目的を遂行していくためには、支部活動の活性化は不可欠であるからこそ、一支部一組合の確立に向けて「組合員の声」が集まる支部活動を推進していきます。

支部活動のポイント

- ❖ 組織活動の点検と役割体制の確立（健全な労使関係の構築）
- ❖ 主体性・積極性を持たせた当事者意識からの働き方改革
- ❖ 組合員・現場の声からの経営参画
- ❖ マンパワー（組織力）を発揮できる活動の推進



「一支部一組合」の確立が、「支部労使協議制」へとつながる

「支部労使協議制」の確立

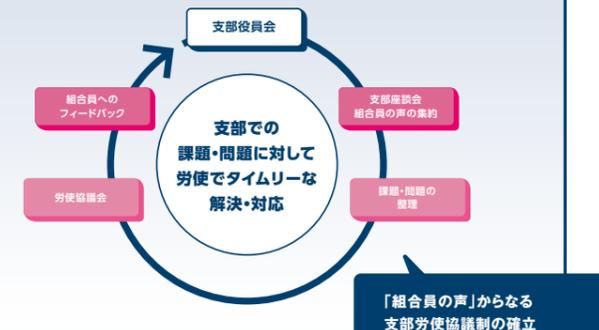
私たち組合員は、「働きやすい職場」と「より良い労働条件」によって働きたい、生きがいを持てる企業を望んでいます。そのためには、職場での様々な課題・問題について「組合員の声」を働く立場からの意見として、経営に反映させることが求められています。

しかし、一人ひとりが店・本部幹部をはじめとする経営者に直接交渉することは現実的に不可能であり、また、その要求が認められる可能性は低いと言わざるを得ません。支部座談会やお世話活動から、日頃あがっている組合員の声（課題・問題）に対し、支部代表委員長を中心とした支部役員で整理し、支部労使協議会にて、店・本部の幹部と「共有⇒協議⇒解決⇒フィードバック」することで、「組合員の声による、より良い営業環境の実現」「経営基盤の整備による雇用・労働条件の向上」「働きがいのある職場環境の実現」につなげていきます。

また、支部で解決できない課題・問題については、労働組合本部にて集約し、関係各部との労使協議会を開催していきます。

支部活動のポイント

- ❖ お客様から支持される店・売場づくりに向けた提言・意見交換
- ❖ 基本四原則を中心としたマネジメントの構築
- ❖ 労務管理（ルール・労働時間の適正化）の徹底
- ❖ 社会環境の変化に対する共有・確認



第3号議案

2018年度 中央役員選出

今年度49名の役員が信任されました。支部活動をさらに充実するため、それぞれの役割に真摯に取り組んでいきます。



2018年度 中央役員

中央執行委員長		氏名	現所属	氏名	現所属	氏名	現所属
氏名	現所属	宇野 典孝	風	鈴木 康生	上尾駅前	福井 伸也	オムニチャネル推進部
石合 弘二	労働組合(専従)	大嶋 光幸	RE部	瀧澤 めぐみ	住居事業部	福井 裕二	食品館三ノ輪
中央執行副委員長		大西 宏司	柳津	竹井 佑季子	精肉部	福島 裕美	甲子園
渡邊 健志	労働組合(専従)	大橋 憲二	アリオ柏	竹内 宏子	労働組合(専従)	前田 賢	能見台
鈴木 辰夫	労働組合(専従)	大平 恵子	柏	田中 大樹	労働組合(専従)	牧野 徳人	帯広
中央執行書記兼中央会計		片桐 麻依	労働組合(専従)	淡輪 実知留	武蔵小杉	松川 将也	労働組合(専従)
千代田 祐樹	労働組合(専従)	鬼沢 克彦	スーパーバイザー部	寺田 弘美	あべの	丸山 亮人	労働組合(専従)
中央執行委員(五十名)		小林 哲史	精肉部	中井 啓二	労働組合(専従)	道副 友輔	コスモドラッグ部
秋葉 雄太	労働組合(専従)	阪井 夏樹	北見	中川 勇樹	労働組合(専従)	毛頭 佳子	明石
安部 喜雄	スーパーバイザー部	佐藤 誠	東大和	南原 貴志	文具玩具部	中央会計監査	
池田 宣生	札幌	佐藤 公則	婦人衣料部	二宮 崇	子供衣料部	下田 広志	専門店会事務局
伊藤 真久	食品館ゾーン	佐藤 洋一	物流企画開発部	濱中 洋平	古淵	鷹屋敷 一久	セブカルチャーネットワーク
井口 隆之	大宮	佐保田 親徳	相模原	平石 実	上福岡東		
岩本 昌秀	市原	鈴木 沙知	労働組合(専従)	平山 孝司	食品館ゾーン		

第6号議案

OB・OG会事業の設立について

「2020中期ビジョン」の議論から、パンプキンサービス内に新規事業の立ち上げ(OB・OG会)を検討

OB・OG会(仮称)を立ち上げ、定年退職、途中退職、転籍者を対象に福利厚生サービスの充実と合わせ、グループのネットワークを活かした人材活用サービスをスタートさせていく方向で今後具体的な検討をしていく。

①「福利厚生サービス」

OB・OG組合員が活用してもらえる魅力的なサービスを提供。

②グループネットワークを活かした人材活用

グループ各社の採用ニーズと、OB・OG組合員の就労ニーズ(定年後に短い時間で働きたい、育児・介護の合間に短い時間で働きたい等...)をマッチングさせるサービスを通じ、グループ内の人材活用を進めていく。

以上の内容を、今年度中央執行委員会を中心に議論を進めてまいります。

2018年度の活動に向けた決意

ブロック長・パートナー専門委員 決意表明

埼玉北ブロック長 | 二神 麗 (ザ・プライス西川口支部)

私は支部代表委員長の役割を担った時に、最初に取り組んだ活動は「支部座談会」でした。座談会を通じて感じた事は「プライス」という業態の中で、現場で働く組合員が様々な悩みを抱えていたことです。その活動を通じて、一人ひとりの組合員と直接対話をする事、改善に向けて会社と協議し、より良い環境を作り、皆のモチベーションを上げていくことが組合の大切な役割だと感じました。スローガンに挙げられている「Y再生」、「真のワーク・ライフ・バランス」実現をしていくには自身の果たすべき役割を考え、まずは私たち組合役員が、昨日までと行動と意識を変えていくことが必要だと思います。まずはブロック長として、「一支部一組合」「支部労使協議制」の確立に向け、各支部の活動のバックアップ、サポートを取り組んでいくことを目標としています。精一杯、活動を進めていきます。一緒にがんばりましょうよろしくお願いいたします。



パートナー専門委員 | 野崎 睦美 (長野支部)

私がパートナー専門委員となった2012年度は、短時間勤務パートナー社員の仲間づくり活動に取り組んでいました。当時の事を思い返すと、短時間勤務のパートナー社員の皆さんは、仕事と家庭を両立されている方が大半を占めており、だからこそ身近に参加できる「支部活動」が重要であり、そのための組織体制づくりが必要だと思い、活動に取り組んできました。そして現在に至るまで、パートナー社員にまつわる人事制度についての声の集約、パートナー組合員が主体となって企画・運営をするパートナーActionの取り組みなど、様々な活動に取り組んできました。2018年度は私達パートナー専門委員自身がまずは自分の支部に目を向けて丁寧な活動をしていくこと、そしてブロック、ゾーン内で共に活動を進める仲間を増やしていくことが必要だと思います。そして、パートナー専門委員として、支部代表委員長を中心とした支部活動のサポートを行っていきます。働きやすい職場環境づくりに向け、共に、力をあわせて活動を進めていきましょう!



大会議長・大会書記 感想と決意



大会議長 スーパーバイザー室支部
石澤 功 さん

まずは今大会が滞りなく進行出来たこと、代議員の皆様、執行部の皆様へ感謝致します。私も、支部代表委員長として今年度の活動方針に基づき、1人でも多くの仲間に参加してもらえよう活動を行って参ります。



大会議長 溝ノ口支部
浅井 裕理 さん

大会議長として今大会を経て、一支部一組合の確立を目指し、支部代表委員長として組合員のみならず、皆様が働きやすい職場環境にしたいために、皆の気持ちを一つにして取り組み、先頭に立って支部を盛り上げてまいります。



大会書記 新浦安支部
中山 瑞穂 さん

この度はこのような大きな大会に出席させていただき、また大会書記という大役に任命していただきありがとうございます。今回満場一致で決議された方針を支部で実行できるよう頑張ります。ありがとうございました。

退任役員と功労者一覧

2017年度をもって5名の役員の方が退任されました。イトーヨーカドー労働組合の活動に対して、長きにわたるご尽力に感謝いたします。今後ともOB・OGとしてのご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

亀山 直樹 [現所属] ザ・プライス川口店 管理統括マネジャー



経歴

- 1995年3月 静岡支部 支部長
- 1996年9月 ブロック長
- 1999年9月 久喜支部 支部代表委員長
- 2003年9月 ブロック長
- 2005年10月 中央執行委員

私が労働組合の活動に携わるきっかけとなったのは、静岡支部の副支部長として支部イベントに参加をしていたことです。その後支部長になり、今までの22年10カ月の活動がスタートしました。組合活動をしていて感じた事は、組合員さんが働きやすい環境をつくるためには、組合役員が真剣に、想いを持って議論し、行動すれば必ず結果に結びつくという事です。役員のみならずも熱い想いを持って、活動をすすめてほしいと思います。今後は、立場が変わりますが、組合員さんが働きやすい環境を作っていくために頑張っていきます。ありがとうございました。

伊藤 雅人 [現所属] 販売本部



経歴

- 1997年3月 四街道支部 支部代表委員長
- 1997年9月 ブロック長
- 2000年9月 新浦安支部 支部代表委員長
- 2006年2月 青森支部 支部代表委員長
- 2007年10月 ブロック長
- 2013年10月 中央執行委員

支部代表委員長、ブロック長時代を含めて、20年間役員を続けることが出来たのは、周りの皆さんが、仲間として一緒に活動を進めてくれた賜物であると感じています。色々無理を言ったにも関わらず、私のモットーである「本気で楽しむ組合活動」にご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。これからは、陰ながら皆さんのサポートをさせていただくのでよろしくお願いいたします。

望月 賢 [現所属] 茅ヶ崎店 管理統括マネジャー



経歴

- 2002年9月 横浜別所支部 支部代表委員長
- 2006年9月 福島支部 支部代表委員長
- 2007年9月 ブロック長
- 2008年10月 中央執行委員

私は一番最初に組合活動に取り組み際に、「どうせやるなら全力で取り組みたい」と思い活動を続けてきました。そうした経験や活動をする中で築かれた人間関係が、今の仕事のやり方、考え方に活かされていると感じています。いま、会社、労働組合ともに厳しい環境に置かれています。だからこそ、組合員として何が出来るかを考える必要があると思います。立場は変わりますが、これからもOBとして活動のお手伝いをさせていただきます。今までありがとうございました。

川名 裕子 [現所属] ザ・プライス野田店 管理統括マネジャー



経歴

- 2011年7月 ザ・プライス五香支部 支部代表委員長
- 2012年4月 ブロック長
- 2012年10月 中央執行委員

退任するにあたり、強く感じているのは、労働組合は多くの方と出会う場だということです。これから活動の中で、多くの話をして仲間をつくってほしいと思います。私が6年間の労働運動を通じて得た財産は、活動を共に考え、共に頑張った仲間です。役員のみならずも人とのつながりを大切に活動を進めてほしいと思います。今後ともよろしくお祈りいたします。ありがとうございました。

小川 涼 [現所属] 姉崎店 鮮魚担当マネジャー



経歴

- 2016年10月 中央執行委員

1年間の組合活動の中で、私自身が拘って進めてきたのは、若手組合員とのつながりを強くする事です。自分自身の役割として、若手組合員との交流を通じて、自ら考え、行動し、団結力を深めていく活動を進めてきました。今後も皆さんと出会った縁を大切に、組合活動をサポートしていきます。本当にありがとうございました。

功労者一覧

支部代表委員長及び中央役員として組合員の先頭で活躍していただいているみなさんに敬意を表し、表彰状・記念品が授与されました。

特別功労者表彰(30年)		氏名		現所属		氏名		現所属		氏名		現所属	
氏名	現所属	鈴木 佳祐	労働組合	鈴木 哲	アリオ上田	野口 裕子	ザ・プライス滝山	安藤 愛子	労働組合	高橋 恵美	花巻	橋本 隆志	幕張
谷津 正信	労働組合	寺田 弘美	あべの	砂川 栄二	福住	林 正浩	セブン&アイ・クリエイトリンク	谷津 正信	労働組合	中井 啓二	労働組合	高木 輝美	高砂
特別功労者表彰(15年)		氏名		現所属		氏名		現所属		氏名		現所属	
氏名	現所属	長谷山 美帆	すすきの	高田 大介	拜島	福井 裕二	食品館三ノ輪	伊藤 雅人	販売本部	秦 大輔	南大沢	牧野 徳仁	帯広
石川 拳功	昭島	福井 奈美	安城	竹内 若菜	武蔵小杉駅前	松川 将也	労働組合	福井 奈美	販売本部	藤田 功司	共配管理センター	松窪 忠	東大和
岩本 昌秀	アリオ市原	藤田 功司	共配管理センター	田中 宏昌	武蔵小杉駅前	松窪 忠	東大和	岩本 昌秀	アリオ市原	矢口 正	柳津	丸山 亮一	労働組合
下田 広志	専門店会事務局	矢口 正	柳津	千々岩 洋介	アリオ橋本	丸山 亮一	労働組合	下田 広志	専門店会事務局	山崎 康文	石巻あけぼの	深山 裕美	古河
鷹屋敷 一久	セブカルチャーネットワーク	山崎 康文	石巻あけぼの	千嶋 拓夫	花巻	深山 裕美	古河	鷹屋敷 一久	セブカルチャーネットワーク	山本 真也	福島	室田 隆	東久留米
波田野 政隆	相模原	山本 真也	福島	都築 宏幸	川崎港町	室田 隆	東久留米	波田野 政隆	相模原	渡邊 晋雄	ザ・プライス西新井	毛頭 佳子	明石
福本 良介	労働組合	渡邊 晋雄	ザ・プライス西新井	中尾 勤	長野	毛頭 佳子	明石	福本 良介	労働組合	西田 圭吾	食品館中野	森田 慎也	仙台泉
安川 敏弘	食品館阿佐谷	西田 圭吾	食品館中野	日塔 浩	国領	米川 祐介	錦町	安川 敏弘	食品館阿佐谷	日塔 浩	国領	米川 祐介	錦町
特別功労者表彰(10年)		氏名		現所属		氏名		現所属		氏名		現所属	
氏名	現所属	青山 有加	宇都宮	石毛 大	船橋	秋葉 雄太	労働組合	石毛 大	船橋	有賀 浩一	食品館おおたかの森	池側 英伸	甲子園
石川 拳功	昭島	石毛 大	船橋	井高 麻子	春日部	有賀 浩一	食品館おおたかの森	井高 麻子	春日部	池側 英伸	甲子園	伊藤 寿代	営業本部・企画情報
岩本 昌秀	アリオ市原	井高 麻子	春日部	稲垣 晶子	直江津	池側 英伸	甲子園	稲垣 晶子	直江津	伊藤 寿代	営業本部・企画情報	伊藤 真久	食品館ソノ 食品館商品担当青果SV
下田 広志	専門店会事務局	稲垣 晶子	直江津	大倉 陽介	洋光台	伊藤 寿代	営業本部・企画情報	大倉 陽介	洋光台	伊藤 真久	食品館ソノ 食品館商品担当青果SV	岩元 亮治	帯広
鷹屋敷 一久	セブカルチャーネットワーク	大倉 陽介	洋光台	大谷 克己	食品館石神井公園	岩元 亮治	帯広	大谷 克己	食品館石神井公園	海老原 謹司	小山	大川 雅子	上尾
波田野 政隆	相模原	大谷 克己	食品館石神井公園	鹿野 純一	東村山	海老原 謹司	小山	鹿野 純一	東村山	大川 雅子	上尾	大西 宏司	柳津
福本 良介	労働組合	鹿野 純一	東村山	北浦 和洋	アリオ八尾	大川 雅子	上尾	北浦 和洋	アリオ八尾	大西 宏司	柳津	久保 徳幸	金町
安川 敏弘	食品館阿佐谷	北浦 和洋	アリオ八尾	古田土 貴志	大船	大西 宏司	柳津	古田土 貴志	大船	久保 徳幸	金町	小林 滋猛	明石
		古田土 貴志	大船	後藤 優也	新百合ヶ丘	小林 滋猛	明石	後藤 優也	新百合ヶ丘				
		酒井 明子	亀有駅前	下重 敏彦	刈谷			酒井 明子	亀有駅前				
		下重 敏彦	刈谷	城山 高德	我孫子南口			下重 敏彦	刈谷				
		城山 高德	我孫子南口	菅原 央也	ザ・プライス湘南台			城山 高德	我孫子南口				
		菅原 央也	ザ・プライス湘南台					菅原 央也	ザ・プライス湘南台				



第4号議案 参与の任命

	谷津 正信 UAゼンセン総務局 総務局長 常任中央執行委員		千頭 洋一 UAゼンセン 千葉県支部 次長		鈴木 佳祐 UAゼンセン 流通部門 執行委員
	小鷲 良平 セブン&アイグループ 労働組合連合会 事務局長		福本 良介 セブン&アイグループ 労働組合連合会 事務局次長	今年度、参与として5名の方が 信任されました。 今後ともご指導ご鞭撻を よろしくお願いいたします。	

第7号議案 第25回参議院議員選挙推薦決議について



私たちの仲間

Profile

田村まみ

第25回参議院議員選挙(比例代表)
組織内候補予定者

生年月日 1976年4月23日(41歳)
家族構成 夫
趣味 野球観戦、アロマセラピー
略歴 1976年 東京生まれ 広島育ち
1999年 同志社大学 神学部 卒業
1999年 総合スーパーへ入社
2006年~2017年 労働組合専従役員

イトーヨーカドー労働組合は、「組合員の不安のない、より豊かな暮らしの実現」を目指しています。その実現のためには、労使での協議、取り組みによる企業の発展、労働条件の維持向上、そして生活に係わる諸問題を「政治の場」を通じて解決させていく事が重要です。上部団体であるUAゼンセンは「政治活動方針」の周知・実践、日常的な政治活動の推進を掲げ、2019年第25回参議院議員選挙に「田村 まみ」組織内候補を擁立し、その支援に向けた取り組みを進めるとともに、「2019年度地方議員200名体制」実現に向けた活動を並行して展開する予定です。UAゼンセンの動向や方針を踏まえ、流通産業における課題解決に向けた取り組みや今まで取り組んできた流通産業の政策実現に向けてセブン&アイグループ労働組合連合会の柳沢光美政治顧問とUAゼンセン組織内議員「かわい たかのり」参議院議員との連携強化を図りつつ、組合員の理解のもと政策実現に向けて取り組んでまいります。



9月29日(金)開催のセブン&アイグループ労働組合連合会「第39回定期大会」にてご挨拶を頂戴しました。



北海道／東北 ゾーン議長

丸山 亮人

北海道／東北ゾーンで働く組合員のみならず、日頃より労働組合の活動へご参加いただき、ありがとうございます。

私たちを取り巻く環境が著しく変化の中で、より一層正しい環境認識を持った労働組合の活動が必要とされています。目の前で直面している課題を放置することなく立ち向かっていくためには、各支部の組織力を、より強固なものにすることが課題解決の実現に向けた近道となります。

2018年度は、活動推進のための組織体制づくりに向けて全力で取り組んで参ります。イトーヨーカドー労働組合が目指す、「一支部一組合」の確立と「支部労使協議制」を実現させるためには、支部代表委員長の強い推進力と、支部を支える支部役員、職場リーダーのみなさんの協力が必要不可欠です。みなさん一人ひとりの力を最大限発揮できる環境づくりに向けた活動を執行部一同しっかりと牽引して参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

北海道／東北ゾーン [21支部]

ブロック	支部
北海道中央[4]	旭川、琴似、屯田、札幌
北海道南[4]	函館、恵庭、福住、すすきの
北海道東[3]	釧路、北見、帯広
北東北[5]	弘前、花巻、五所川原、八戸沼館、青森
南東北[5]	平、福島、郡山、石巻あけぼの、仙台泉



埼玉／北関東 ゾーン議長

中川 勇樹

2018年度埼玉/北関東ゾーンを担当する中川勇樹です。よろしくお願いたします。今期は組合員全員が「IY再生」「真のワーク・ライフ・バランス」実現に向けてをスローガンに、働く私たち自身の環境を見直し、意識を変え、行動を変えることを目指して活動を進めていきます。

埼玉/北関東ゾーンでは労働組合があつてよかった、イトーヨーカ堂に入社してよかったと思える身近な活動を目指します。組合員が日頃困っていること、業務上の課題と感じていることを組合役員、職場リーダーが話しやすい環境を整備していく事を重点に、お世話活動を日常的に行えるような支部組織の構築を進めます。

組合へ上がった声支部での労使協議の場で協議され、その内容を組合員へ共有することで「活動の見える化」をすることが困った時に相談できる環境なのだと考えます。

そうしてできた支部組織を継続できる環境こそが「一支部一組合」の実現に必要なのです。支部では難しい対等な労使関係の構築を中央役員がサポートしていくので、組合員の皆さんがご理解いただき、様々な活動へのご参加をよろしくお願いいたします。

埼玉／北関東ゾーン [28支部]

ブロック	支部
埼玉東[7]	新田、草加、春日部、三郷、食品館新三郷、ザ・プライスせんげん台、埼玉センター、(プロセセンター)
埼玉南[6]	ザ・プライス川口、浦和、ザ・プライス西川口、錦町、川口、大宮
埼玉北[7]	久喜、上尾駅前、加須、大宮宮原、深谷、鷲宮、上尾、(久喜センター)
埼玉西[3]	和光、上福岡東、食品館埼玉大井
北関東[5]	古河、小山、日立、伊勢崎、宇都宮



西東京 ゾーン議長

田中 大樹

今年度西東京ゾーンを担当させていただきます田中大樹です。よろしくお願いたします。

2018年度は「IY再生」「真のワーク・ライフ・バランス」実現に向けてを活動のスローガンに掲げています。私たちの「雇用の確保」と「労働条件の維持向上」はイトーヨーカドー労働組合の活動の原点であり、そのためには「IY再生」を実現させていかなければなりません。そして働く私たちが充実した毎日を送るためには、働きやすい職場環境をつくる必要があります。今、私たちを取り巻く環境を正しく認識し「労務管理」と「営業管理」の二兎を捕まなければ、生き残っていくことはできません。「しょうがない」という合言葉で36協定違反や就業不正から目を逸らさず、問題・課題を正しく捉えただ中で具体的な解決策を見出し、打開していきましょう。一つひとつの支部が抱える問題・課題は、それぞれ異なります。それをスピーディーかつ適切に解決していくには、一つひとつの支部がより多くの声をあげ、支部の中で経営者と話し合っていくことが必要です。働きやすい職場環境が、やりがい・働きがいにつながります。職場環境の改善に向けて、一丸となって頑張ります。

西東京ゾーン [19支部]

ブロック	支部
武蔵野東[7]	東村山、ザ・プライス滝山、東久留米、東大和、食品館練馬高野台、食品館石神井公園、食品館小手指、(田無)
武蔵野南[8]	武蔵境、昭島、拝島、武蔵小金井、食品館阿佐谷、食品館早稲田、食品館中野、食品館新宿南久
多摩[4]	多摩センター、南大沢、八王子、国領



神奈川 ゾーン議長

中井 啓二

2018年度のスローガンは「IY再生」「真のワーク・ライフ・バランス」実現に向けてです。そして私たちは、今の取り巻く環境から最大の結果をだすために、「一支部一組合、支部労使協議制」の確立を推進していきます。

一つひとつの活動に組合員役員がどれだけ向き合って取り組み、組合員との対話を大事にしていくことです。その積み重ねが人間(=信頼)関係を構築させ、組織体制の強化につながります。

神奈川ゾーンとして、活動方針実現に向けて、以下の目標を進めていきます。

- ▶一つひとつの活動を丁寧にかつ、スピーディに対応できる組織体制(活動のこだわり)
 - ▶ゾーン労使協議の強化(経営とのタイムリーに對話できる仕組み)
 - ▶結果にこだわった活動の進め方
 - ▶ゾーン全体のスキルアップと強い組織体制の醸成
- みなさんとともに、一つひとつの活動に「こだわり」と「対話」しながら進めていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

神奈川ゾーン [29支部]

ブロック	支部
横浜北[5]	若葉台、新百合ヶ丘、古淵、ららぽーと横浜、橋本
横浜南[5]	洋光台、桂台、上永谷、能見台、横浜別所
相模[3]	相模原、伊勢原、大和鶴間、(瀬谷)
川崎[8]	たまプラーザ、綱島、武蔵小杉駅前、溝ノ口、鶴見、川崎港町、川崎、武蔵小杉
湘南[8]	藤沢、茅ヶ崎、大船、小田原、湘南台、立場、ザ・プライス湘南台、食品館ららぽーと湘南平塚

2018年度 ゾーン議長あいさつ



千葉 ゾーン議長

鈴木 沙知

2018年度、千葉ゾーンを担当いたします鈴木沙知です。1年間よろしくお願いいたします。

今年度、イトーヨーカドー労働組合は「一(いち)支部(しぶ)一組合(いちくみあい)・労使協議制の確立」から「IY再生」「真のワーク・ライフ・バランス」実現に向けてを目指し取り組んでいきます。しかし、そもそも組合活動が理解されていなければ、「一(いち)支部(しぶ)一(いち)組合(くみあい)・労使協議制の確立」を進めることができません。そこで千葉ゾーンのスローガンは、「身近な組合活動を進め、組合員の声が集まる体制づくりをしよう」です。組合員の参加しやすい支部イベントや座談会などの活動を中心に、組合員の方の参加に拘って、労働組合の活動を定着させていきます。そして就業改善への取り組みとして、安全衛生委員会や支部労使協議会の入り込み、また、定期的な労使情報交換の場をつくります。そのために千葉ゾーン執行部として、中央執行委員やブロック長による支部オルグを中心としたフォローを進めます。また、パートナー組合員の参加拡大を目指した活動を、パートナー専門委員が中心となり進めていきます。身近な組合活動を進め、組合員の声が集まる体制をつくり、「一(いち)支部(しぶ)一組合(いちくみあい)・労使協議制を確立し、IY再生」「真のワーク・ライフ・バランス」を実現していきましょう。

千葉ゾーン [22支部]

ブロック	支部
常磐[6]	柏、我孫子南口、我孫子、竜ヶ崎、食品館おたかの森、アリオ柏
新京成[6]	ザ・プライス五香、松戸、八柱、流山、ザ・プライス野田、食品館鎌ヶ谷
総武[5]	津田沼、船橋、成田、新浦安、八千代
京葉・房総[5]	姉崎、幕張、四街道、蘇我、市原、(ケント千葉そごう)



東東京 ゾーン議長

秋葉 雄太

2018年度、東東京ゾーン議長を担当します秋葉雄太です。よろしくお願いいたします。

今期のスローガンは、「IY再生」「真のワーク・ライフ・バランス」実現に向けてになります。二兎を捕まなければ生き残れない時代というように、営業管理・労務管理の両面を追究してまいります。今だからこそ、プレない土台作りが必要です。営業管理も労務管理についても正しい職場環境(休日・休暇が取れる、作業計画通り進められる)があつてこそ、会社業務に臨める、組合活動につながれると思います。当然、簡単なことではありませんが、この正しい職場環境(休日・休暇が取れる、作業計画通り進められる)に向けて、東東京ゾーンとして、労務管理(36協定違反ゼロ、不正スキャンゼロ)を重点に取り組んでいきます。

また、「一支部一組合の確立」「支部労使協議制の確立」を達成するために、ゾーン執行部も支部への「お世話活動(サポート)」を行います。支部活動を一段と充実させるべく、取り組んでいきます。組合役員がお声掛けをいたしますので、本音の声を伝えてください。皆さんの参加をもって組合活動を充実させていただきます。よろしくお願いいたします。

東東京ゾーン [24支部]

ブロック	支部
荒川[6]	上板橋、赤羽、食品館小豆沢、食品館王子、ネットスーパー西日暮里、食品館三ノ輪
足立[8]	ザ・プライス西新井、金町、竹の塚、綾瀬、亀有駅前、亀有、アリオ西新井、食品館梅島
京成[5]	食品館立石、高砂、小岩、四つ木、曳舟
湾岸[5]	大井町、葛西、木場、大森、北砂、(グッディハウス原宿)



信越・中京／西日本 ゾーン議長

竹内 宏子

おはようございます。今年度、信越・中京/西日本ゾーン議長を務めることになりました竹内です。どうぞよろしくお願いいたします。

2018年度の活動を推進していくための組織体制として「一支部一組合の確立」が掲げられました。その組織体制のもとに、支部の中で起きている課題・問題を現場に集う組合員の声から集め、「労使協議」という形で解決・対応を図っていき、より働きやすい職場環境や生産性の向上につなげることを目指します。これらを実現していくポイントは「支部活動のポイント」をおさえ、一つひとつの活動に丁寧に取り組んでいくことです。

私は支部代表委員長を務めていた際、多くの仲間の協力を得ながら支部活動に取り組みました。それを踏まえ、いろいろな状況にある支部の仲間たちに対して「みんなで一緒にやっとういこう!」と声を大にして伝えたいです。活発な支部活動のもとに「一支部一組合の確立」を目指し、継続的な「労使協議」を通じて、より良い職場環境にしていきたいと思います。

信越・中京／西日本ゾーン [22支部]

ブロック	支部
信越[5]	長野、直江津、南松本、甲府昭和、上田
静岡[3]	沼津、静岡、三島
中京[5]	刈谷、知多、安城、尾張旭、柳津、(赤池)
関西[6]	東大阪、津久野、甲子園、八尾、あべの
山陽[3]	加古川、福山、明石



本部 ゾーン議長

片桐 麻依

2018年度、本部ゾーン議長を担当する片桐麻依です。よろしくお願いいたします。

2017年10月6日に第48回定期中央大会を開催し、2018年度の活動がスタートしました。今年度の活動スローガンは「IY再生」「真のワーク・ライフ・バランス」実現に向けてです。私達を取り巻く環境は日々変化しており、お客様に対しての誠実な対応、そして正しい環境認識を持った上で働き方の改革をしていかなければなりません。今の私達に求められていることは、時間を有効に使い、成果を出していくために何が必要かを一人ひとりが考え、行動を変えていくことです。皆が真剣に商売に取り組み、個々の力を発揮するための環境を作っていくためには、現場で働く皆さんの「声」を聴いていくことが非常に大切な活動となります。現場で働く組合員の方の声を聴き、改善につなげていくことこそが「IY再生」「真のワーク・ライフ・バランス」実現に向けた一歩になります。組合員の方の中には、労働組合の活動に触れていない方、活動目的を伝えられていない方がまだ多くいると思います。2018年度、本部ゾーンでは身近な支部活動の強化、本部ゾーンの組合員が参加しやすい活動機会の拡大に向けて取り組んでいきます。「組合活動」も「業績回復」も誰かがやってくれるのではなく「自分自身」がやっていくことと捉え共に頑張っていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

本部 [6支部]

ブロック	支部
商品[4]	衣料、住居、食品、スーパーバイザー室
販売・管理[1]	販売・管理
セブン&アイ[1]	セブン&アイ、その他出向者